

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	◎	商店街（代表者）	来客数の動き	・春休みに入り、若者を中心ににぎわいを取り戻しつつある。ネット通販を含め、高額商品の動きが鈍いため、売上の増加にはなかなかつながらない。
(北陸)	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・1月が良く、2月が悪く、3月は少し上向きである。入込客が増え、イベントによる盛り上がりが出てきている。駅前の活性化の影響があるようで、この状況が続くことを望んでいる。いずれにせよ、春の陽気が活気につながると期待している。
	○	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	販売量の動き	・人の動きは以前から増えていたが、まん延防止等重点措置の解除とともに際立ってきている。3月の3連休も予想以上の人出となった。飲食店や居酒屋など、4月は予約がたくさん入ってきたと聞いている。
	○	百貨店（売場主任）	来客数の動き	・まだまだ全盛期には及ばないが、3連休以降は観光客の姿が戻ってきている。食品やインポートブランドは好調に推移しているが、メンズやレディースの衣料品は苦戦している。月全体では前年及び前々年実績は超える見込みである。
	○	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が適用されているなかだったが、新規感染者数が減少したため、集会における弁当等の注文が増えてきている。
	○	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・季節が変わり新型コロナウイルスに対する認識が変化してくるにつれ、用心しながら消費動向が上がってきているようにみえる。
	○	自動車備品販売店（役員）	販売量の動き	・タイヤの値上げ前に駆け込み購入が増え、売上は前年より増加している。ガソリン価格の高値安定も影響している。車の販売は相変わらず納車が遅れ、販売台数は回復していない。
	○	都市型ホテル（役員）	来客数の動き	・ビジネス客を中心に個人宿泊客に緩やかな回復基調がみられる。また、まん延防止等重点措置が解除され、週末に駆け込みのレジャー客が大幅に増加した結果、稼働率が10%増加している。
	○	タクシー運転手	来客数の動き	・週末になると、夜の飲食店で人が増えてきている。
	○	美容室（経営者）	来客数の動き	・3月中旬以降、新型コロナウイルスの新規感染者数がピークアウトした感じがある。2月は大雪と新型コロナウイルスの新規感染者数の急増で来客数が大幅に減少した。その反動もあり、今月に入って来客数が増えている。
	□	一般小売店〔精肉〕（店長）	販売量の動き	・3か月前以降、ギフト等の高額商材の動きが余り良くない。
	□	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・2月中旬より新型コロナウイルスの感染状況に多くの人が慣れたためか、来客数が戻ってきている。しかし、11～12月頃の来客数や購買意欲はない。目的の商品や必需品などに限定した短時間での購入が続いている。好調なアイテムは、食品とビジネスや新生活関連である。ビジネスは男女共に前年苦戦したスーツの需要が増加している。少ない来客数ながら単価が高く、数値を押し上げている。生活雑貨やギフト関連は改善傾向にある。バッグやカジュアル衣料などの旅行需要はやや回復しているが、まだまだ少なく、本格的な旅行需要の回復には程遠い。
	□	スーパー（店長）	販売量の動き	・販売量は変わらず、値上げの影響で1品単価が上がっている状況で、悪い兆候である。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数も客単価も変わらない。
	□	コンビニ（営業）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置は解除されたが、客の買い控えが目立つ。また、繁華街等は人流が回復せず、リモートワークを導入する企業が増えるなど、オフィス街は新型コロナウイルス発生前とは環境が変わっており、客の様子も変わっている。
	□	家電量販店（店長）	販売量の動き	・新生活需要も年々下がっており、洗濯機やエアコンといった高付加価値商品の売行きの良さに助けられている。
□	家電量販店（本部）	来客数の動き	・売上は若干回復しているが、来客数は伸びてこない。	

□	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新車の受注数が例年と比べて悪い。現在使用中の車を買換えるのではなく、車検をして継続使用する人が多いようである。中古車については変わらずに販売数は確保できているが、新車購入には慎重な状況が続いている。
□	その他専門店 [酒] (経営)	販売量の動き	・最近の物価高騰により、し好品である酒類は我慢の状態にあると考える。
□	高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・約2か月ぶりにまん延防止等重点措置が解除されたが、県庁、市役所、病院、学校関係の送別会は当然のように開催されない。一般企業の利用も少なく、新型コロナウイルス発生前と比べると全体で約半分の集客しかない。
□	一般レストラン (店長)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置は解除されたが、客足は目立つほどには戻っていない。
□	観光型旅館 (経営者)	来客数の動き	・春休みに入り個人客は増えてきているが、新型コロナウイルス発生前と比べると約40%減少している。
□	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の適用が延長されて、宴会、宿泊共に前年よりは回復しているが、新型コロナウイルス発生前までに戻る勢いが無い。
□	通信会社 (営業担当)	販売量の動き	・本来なら新生活に向けた携帯電話の購入が増える時期であるが、若年層での購入時期が分散しており、単月での販売数が伸び悩んでいる。新型コロナウイルスによる影響は少ないとみている。
□	通信会社 (役員)	販売量の動き	・通信、放送サービス共に3か月前と変わらず、契約者数が前年同期と同程度の獲得数で推移している。
□	通信会社 (役員)	販売量の動き	・半導体不足による電子機器の入手が困難な状況が継続しており懸念はあるが、現時点では在庫不足等は発生しておらず、新規契約者数等に影響は出していない。
□	テーマパーク (役員)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置は解除されたが、全体的な客の戻りはそれほど強くなく、これまでと大きく変わらない状況である。
□	その他レジャー施設 [スポーツクラブ] (総支配人)	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が依然として多く、子供の感染者が身近に出てきており、春に向けての特別教室の申込みが圧倒的に少ない。また、休会する会員も引き続き出ており、状況が良くない。
□	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・コロナ禍でイベントができず、常設展示場への来場者も少ない。問合せも少なく、契約は増やせなかった。新規の見込み客も少なく、増えそうな気配がない。
□	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・資料請求やキャンペーンへの応募などの数が増えており、展示会への来場も見込める。
□	住宅販売会社 (営業)	お客様の様子	・社会情勢としては、もっと景気が下がるものと認識していたが、客の動きはそれほど悪くない状況である。来客数、商談数共に大きな落ち込みはなく、低空飛行ながらも安定している。
▲	商店街 (代表者)	来客数の動き	・北京オリンピックでの盛り上がり期待していたが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響の方が大きく、ウクライナ情勢ともあいまって消費マインドは落ち込んでいる。夜間の人出の少なさも顕著で、閉店時間を早める店舗も出てきている。
▲	一般小売店 [書籍] (従業員)	販売量の動き	・前月、前々月より販売数、来客数共にかなり減少している。特に販売数、販売額の落ち込みがひどい。
▲	百貨店 (販売促進担当)	お客様の様子	・入学式、卒業式を中心に、各行事が前年と比べて戻ってきていることは間違いないが、ガソリン価格の高騰や必需品の値上げ等の影響で節約志向が強まりつつある。行事に伴う消費の自粛が大きく影響しており、関連したウェア、レストランの利用、祝いや祝返しの数や単価が減少している。
▲	スーパー (仕入担当)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の期間が延長されたことに加え、競合店の出店もあり、来客数が大きく減少している。
▲	スーパー (店舗管理)	お客様の様子	・原油価格の高騰による生活品全般の値上げの影響は、買上点数の減少からも見て取れる。コロナ禍の影響よりも、値上げによる消費動向の落ち込みが大きい。

	▲	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数はまだ高止まりで、 来客数はなかなか回復しない。
	▲	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響を払拭できず、流行前 の売上に戻ることは簡単ではない。
	▲	乗用車販売店 (役員)	お客様の様子	・ガソリン代を始め、物価が上昇しており、不要な支出を 避ける思いがうかがえる。
	▲	その他小売 [ショッピング センター] (統 括)	販売量の動き	・新規感染者数の増加傾向が続き、来客数が伸び悩むと同 時に卒業を含めた新生活関連やギフトの需要が伸び悩んで いる。気温の不安定さもあってか、衣料品の春物商材の動 きが鈍い。3連休以降にまん延防止等重点措置の解除が あったものの、来客数に自粛明けの勢いが感じられず、新 規感染者数の減少を期待したい。
	▲	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・資材価格の高騰で物件の動きが鈍くなっている。
	×	コンビニ(店舗 管理)	来客数の動き	・本県においては感染拡大特別警報が発出され、消費マイ ンドも低迷したままである。来客数は新型コロナウイルス 発生前から2割減少している。
	×	住関連専門店 (役員)	来客数の動き	・1月以降、雪や感染拡大の影響を受け、来客数がずっと 下がっている。
	×	スナック(経営 者)	来客数の動き	・当店の周囲を歩いている人がいない。他の店舗も本店と 同様に早く閉店したり、タクシーを呼んだ場合にも5分以 内に到着するという状況である。
	×	観光型旅館(ス タッフ)	来客数の動き	・総売上は前年比で91.7%、前々年比で50.6%である。ま ん延防止等重点措置が適用されてから予約が大幅に減少し ている。
	×	旅行代理店(従 業員)	単価の動き	・まん延防止等重点措置の影響で、出張など客単価の高い 遠方の旅行手配がほぼなくなっている。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・3か月前には新型コロナウイルスによる第6波が始まっ ておらず、忘年会などもあり良かった。当地のまん延防止 等重点措置は3月21日をもって解除され、少しずつ新規感 染者数も減少しているが、元の状態になるには時間が掛か るとみている。
企業 動向 関連 (北陸)	◎	—	—	—
	○	通信業(営業)	受注量や販売量 の動き	・コロナ禍の影響が落ち着いてきており、設備投資も増加 している。また、半導体不足の影響も商品の在庫がある企 業にとっては追い風となり、販売量は増加している。
	○	税理士(所長)	取引先の様子	・担当先企業の話では、これまでネックになっていた電子 部品関係の調達も、各企業の工夫で大分改善してきたよう である。滞っていた製造や電気工事などが、1か月前より も動き出している実感がある。ただし、円安の影響もある のか価格が高く、各企業は価格転嫁について悩んでいる様 子である。
	□	プラスチック製 品製造業(企画 担当)	受注量や販売量 の動き	・半導体不足や世界的な新型コロナウイルスの感染状況に 加えて、ウクライナでの武力衝突による世界的な輸送遅延 や原材料費の高騰等による影響は大きく、引き続き厳しい 状況が続く。
	□	一般機械器具製 造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・補助金効果が薄まりつつあり、受注量も落ち着いてきて いる。
	□	建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・大型物件の受注があり、この3か月の受注状況は前年同 期より増加しているが、景気が上向いたためとは考えられ ない。
	□	金融業(融資担 当)	取引先の様子	・まん延防止等重点措置が解除され、経済活動は戻りつつ あるが、資源価格高騰の影響が出始めている。売上が回復 していないなかで採算は悪化している。既に経費削減を進 めている取引先がほとんどであり、業況は改善されていな い。
	□	不動産業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・現在、法人客から活発な話を聞くことができない。
	▲	食料品製造業 (経営企画)	それ以外	・受注量や販売量は多少の浮き沈みを繰り返しながらも比 較的安定している。しかし、かねてより悪化している原料 事情や原油価格高騰に伴う様々なコストアップ、加えて外 国人技能実習生の入国制限を主要因とする労働力の減少な ど、内部のやり繰りがとても厳しい状況になっている。

	▲	繊維工業（総括）	受注価格や販売価格の動き	・受注は全体としては回復傾向にあるが、原材料価格の高騰が収益を大きく圧迫している。
	▲	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・売上が3か月前より下がっている。
	▲	精密機械器具製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・まん延防止等重点措置が解除となり、今後の売上の向上を期待するが、地域による感染状況のばらつきや種々の値上げ攻勢、まだみえないウクライナ情勢の悪影響もあり、売上パターンとしては季節変動で伸びてはいるものの、水準としてはまだ厳しい。
	▲	輸送業（管理会計担当）	受注量や販売量の動き	・3月に入り、物量が減少している。国際物流についても、中国のロックダウンの影響があり低迷している。
	▲	司法書士	取引先の様子	・経営の強化や見直しのため、企業再編や関連会社からの役員派遣といった役員変更登記の依頼が多くなっている。
	×	輸送業（役員）	取引先の様子	・年度初めより燃料の需要回復による価格の高騰がみられていたなか、ロシアのウクライナ侵攻により更に燃料価格が高騰している。
雇用 関連 (北陸)	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・派遣先企業からの派遣依頼件数や人員数が増えている。一方で求職者からの派遣登録数は減少しており、人手不足感が強くなっている。
	○	新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・まん延防止等重点措置が解除され、旅行やレジャー業種に活気が出てきている。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数の変動が余りない。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の重症化率が低いことや人々のコロナ慣れによって、一時期と比べて経済活動が活発化している。これに伴い、求人広告も徐々に回復傾向にあるが、新型コロナウイルスの発生以前と比較するとまだまだ低調な状況が続いている。
	□	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・コロナ禍の収束がみえないので、求人数は低位で推移している。まん延防止等重点措置の解除後は、飲食業などは早く活況化すると考える。企業の求人も増加に転ずるとみている。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—